

令和元年10月11日

文化庁日本の技体験フェア 2019「ふれてみよう！文化財を 守り続けてきた匠の技」の開催について

この度、文化庁では、文化財の保存のために欠くことのできない「文化財の保存技術」を広く紹介するため、文化庁日本の技体験フェア 2019「ふれてみよう！文化財を守り続けてきた匠の技」を沖縄県那覇市で開催します。みなさまの御来場を心よりお待ちしております。

1. 事業名

文化庁日本の技体験フェア「ふれてみよう！文化財を守り続けてきた匠の技」

2. 開催日

令和元年11月 9日（土）12：00～16：00

11月10日（日）10：00～16：00

3. 場所

沖縄県立武道館（沖縄県那覇市奥武山町52）

※入場無料です。

4. 内容（イベントの内容・日時は、都合により変更となる場合があります。）

（1）選定保存技術保存団体（全34団体、別紙参照）による展示・実演・体験

①展示

技の解説や保存団体の活動を紹介するパネル、原材料・道具等を展示します。

②実演

先人から受け継がれてきた知恵と熟練の技を披露します。

[実演の一例]

- ・金沢金箔伝統技術保存会・・・・・・・・・・縁付金箔うつしの実演
- ・浮世絵木版画彫摺技術保存会・・・・・・・・江戸木版画の彫りと摺りの実演
- ・日本うるし掻き技術保存会・・・・・・・・漆掻きの実演

③体験

技術者から教わりながら、実際に「匠の技」を体験することができます。
体験で制作した作品は記念品としてプレゼントします。

[体験の一例]

- ・宮古芋麻績み保存会・・・・・・・・・・芋麻績（ブーンミ）体験
- ・組踊道具・衣裳製作修理技術保存会・・組踊の衣裳を着る体験
- ・木之本町邦楽器原糸製造保存会・・・・繭から紡いだ糸でタッセル作り体験



多色摺体験



カンナ体験

（ 写真：静岡県熱海市における昨年度の体験の様子 ）

（2）その他

① 本フェアの開催に先立ち、開催地である那覇市の小学校を対象に、選定保存技術保存団体の技術者が学校に赴き、技の解説や体験を行う「学校キャラバン（出前授業）」を実施します。

② 11月9日（土）16：00からは、同時開催として、同会場沖縄県立武道館内ステージにて沖縄県教育委員会主催で「組踊公演『護佐丸敵討』&ワークショップ」が開催されます。

5. 目的

近年、生活環境などが変化する中で、文化財の保存のために欠くことのできない伝統的な技術又は技能について、伝承者の養成や原材料の確保等が困難になりつつあります。

このため文化庁では、そのような「文化財の保存技術」のうち、保存の措置を講ずる必要があるものを「選定保存技術」（※）として選定し、これらの技の保存・伝承を図っています。

このフェアは、文化財の保存技術の大切さや、伝承者の養成、文化財の修理、原材料や道具などに関する現状をより多くの方々に理解していただくとともに、未来の伝承者・理解者の拡大等に資することを目的に毎年開催しています。

6. 主催等

主催 文化庁

共催 沖縄県教育委員会，那覇市，那覇市教育委員会，全国文化財保存技術連合会

※（１）「選定保存技術」とは

文化財は先人の築き上げた大切な遺産であり，私たちはこれを保存して後世に伝えていく重大な責務があります。

文化財保護法では，文化財の保存のために欠くことのできない伝統的な技術または技能である「文化財の保存技術」のうち，保存の措置を講ずる必要のあるものを「選定保存技術」として選定し，その保持者や保存団体を認定する制度を設けています。この制度は，文化財を支え，その存続を左右する重要な技術を保護することを目的としており，技術の向上，技術者の確保のための伝承者養成とともに，技術の記録作成などを行うものです。

昭和50年の同制度創設後，現在までに随時選定・認定が行われ，保持者・保存団体による伝承者養成事業の実施をはじめ，技術の保存・伝承に多くの努力が払われています。

[参考] 文化財を支える伝統の名匠リーフレット URL

http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/shuppanbutsu/bunkazai_pamphlet/pdf/pamphlet_ja_08.pdf

（２）「選定保存技術」の選定・認定数（令和元年10月11日現在）

選定保存技術 75件

保持者 選定件数 48件 保持者数 57人

保存団体 選定件数 37件 保存団体数 39団体（34団体）

- ・ 保存団体には重複認定があるため，（ ）内は実団体数を示します。
- ・ 同一の選定保存技術について保持者と保存団体を認定しているものがあるため，保持者と保存団体の計は選定保存技術の件数とは一致しません。

<担当> 文化庁文化財第一課

課長 田村 真一（内線 2884）

課長補佐 山崎 智紀（内線 3102）

活用連携係長 宮本 隆行（内線 2885）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-3168（直通）

選定保存技術保存団体 一覧

平成31年4月現在

NO	選定保存技術	団体名	事務所の所在地
1	日本産漆生産・精製	日本うるし掻き技術保存会	岩手県二戸市
2	からむし(苧麻)生産・苧引き	昭和村からむし生産技術保存協会	福島県大沼郡昭和村
3	茅採取	一般社団法人日本茅葺き文化協会	茨城県つくば市
4	建造物彩色 / 建造物漆塗	公益財団法人 日光社寺文化財保存会	栃木県日光市
5	建造物修理 / 建造物木工	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会	東京都荒川区
6	日本産漆生産・精製	日本文化財漆協会	東京都台東区
7	玉鋼製造	公益財団法人 日本美術刀剣保存協会	東京都渋谷区
8	浮世絵木版画技術	浮世絵木版画彫摺技術保存協会	東京都台東区
9	植物染料(紅・紫根)生産・製造	一般財団法人 日本民族工芸技術保存協会	東京都千代田区
10	歌舞伎小道具製作	歌舞伎小道具製作技術保存会	東京都台東区
11	歌舞伎衣裳製作修理	歌舞伎衣裳製作修理技術保存会	東京都中央区
12	歌舞伎大道具(背景画)製作	歌舞伎大道具(背景画)製作技術保存会	東京都中央区
13	縁付金箔製造	金沢金箔伝統技術保存会	石川県金沢市
14	建具製作	一般財団法人 全国伝統建具技術保存会	静岡県静岡市
15	左官(日本壁)	全国文化財壁技術保存会	愛知県江南市
16	邦楽器原系製造	木之本町邦楽器原系製造保存会	滋賀県長浜市
17	建造物木工	特定非営利活動法人 日本伝統建築技術保存会	滋賀県彦根市
18	木造彫刻修理	公益財団法人 美術院	京都府京都市
19	檜皮葺・柿葺 / 茅葺	公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会	京都府京都市
20	装演修理技術	一般社団法人 国宝修理装演師連盟	京都府京都市
21	祭屋台等製作修理	祭屋台等製作修理技術者会	京都府京都市
22	文化財庭園保存技術	文化財庭園保存技術者協議会	京都府京都市
23	建造物装飾	一般社団法人 社寺建造物美術保存技術協会	京都府京都市
24	畳製作	文化財畳保存会	京都府京都市
25	竹箴製作	日本竹箴技術保存研究会	京都府京都市
26	装演修理材料・用具製作	一般社団法人 伝統技術伝承者協会	京都府京都市
27	文化財石垣保存技術	文化財石垣保存技術協議会	兵庫県姫路市
28	屋根瓦葺(本瓦葺)	一般社団法人 日本伝統瓦技術保存会	奈良県生駒市
29	木炭製造	伝統工芸木炭生産技術保存会	岡山県岡山市
30	阿波藍製造	阿波藍製造技術保存会	徳島県板野郡上板町
31	手漉和紙用具製作	全国手漉和紙用具製作技術保存会	高知県吾川郡いの町
32	琉球藍製造	琉球藍製造技術保存会	沖縄県国頭郡本部町
33	苧麻糸手績み	宮古苧麻績み保存会	沖縄県宮古島市
34	組踊道具・衣裳製作修理	組踊道具・衣裳製作修理技術協議会	沖縄県那覇市